

感染危機管理チーム  
感染専門アドバイザーの皆様へ



## 第 11 回 感染地域ネットワーク通信



焼き付けるような日差しに夏の訪れを感じる今日この頃、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。

これからの時期、テレビでお決まりの心霊番組に怯えつつ見入ってしまう…なんてことはないでしょうか？実は7月26日に「幽霊の日」なる記念日があるそうなんです！これは江戸時代の文政8年(1825年)歌舞伎狂言作者4代目・鶴屋南北が手掛けた「東海道四谷怪談」が江戸の中村座にて初演されたことに由来して制定されたそうで、現代でも衰えることない王道ジャパニーズホラーです。

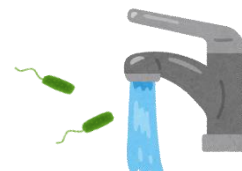
また幽霊に関するイベントとしては、毎年7月17日に山口県下関市にある永福寺の「幽霊まつり」が有名で、永福寺に伝わる幽霊の絵が年に一度ご開帳されます。この絵は、永福寺の下に住んでいた娘が病のため若死にてしまい「不仲な両親が気になって成仏できないから両親を諭してほしいと」住職の枕元に現れたときに住職が描いたものと言われています。心優しい幽霊の絵で、お堂の前で焚かれる線香にあたると無病息災で過ごせると伝えられており、毎年多くの人が集まるそうです。幽霊と一括りにしても、私たちに害をなすものもいれば、私たちに諭してくれる存在でもあるのだと感じました。

暑い夜にはホラーを見て涼んでみるのも1つの手かもしれません。

\*\*\*-----\*\*\*\*\*-----\*\*\*\*\*-----\*\*\*\*\*-----\*\*\*\*\*-----\*\*\*\*\*-----\*\*\*\*\*

### ◆感染制御部 東医師より～感染情報～

#### ○蛇口で制御せよ：



#### 集中治療室における緑膿菌 (Pseudomonas aeruginosa) の水系伝播を抑制する

梅雨でジメジメした時期ですので水のお話です。一般に、院内緑膿菌アウトブレイクは、病院の水系システムが原因となっている報告をよく目にします。人工的に緑膿菌で汚染させた ICU 蛇口を新しい蛇口に交換し、水サンプルを8か月間にわたり週1回採取した結果、緑膿菌陰性であり、緑膿菌の臨床分離株の数が50%減少したとの結果が出たそうです。

水道の蛇口と配管は微生物がバイオフィームを作ることで、都合の良い定着場所となり、細菌の定着によるアウトブレイクがこれまで多数報告されています。蛇口に微生物が定着すると、除去することが困難となり、蛇口へのフィルター装着か、予算がかかるが蛇口の交換となってしまいますよね。しかし、本論文の蛇口は、新たにデザインされた蛇口で、注ぎ口や混合バルブを含めた蛇口一体が取り外しでき、オートクレーブができるという新たな発想で作られているようです。まだまだ検討の余地のある新たな蛇口です。

今一度、何かの有事？の際には、アウトブレイク要因の1つとして、蛇口も頭の片隅に置いてみてはいかがでしょうか？

Tap out: reducing waterborne Pseudomonas aeruginosa transmission in an intensive care unit  
M. I. Garvey\*, M. A. C. Wilkinson, K. L. Holden, T. Martin, J. Parkes, E. Holden

◆**感染地域ネットワーク現況**

○**感染地域ネットワーク相談について**

2019年4月から6月に1件の相談依頼がありました。

- ・同一患者からの複数回インフルエンザ陽性発症について

2019年2月より、感染地域ネットワーク登録医療機関へ ICT System ログイン ID・パスワードの配布を随時行っております。ICT System の使用方法等について不明な点がございましたら、下記事務までご連絡ください。

◆**Topics 情報**

○**風しんについて**

全国的に風しん報告者数が増加傾向にあり、徳島県でも報告されています。流行地域としては、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県と首都圏を中心に報告者数が多いですが、全国的に報告されている状況です。風しんの感染経路はウイルスを吸い込むことによる飛沫感染が主ですが、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染もあります。周囲へ感染させる期間は、発疹の出現する1週間程度とされています。妊婦初期に感染した場合、母体から胎児へ感染し、白内障、先天性心疾患、難聴等の症状が見られる先天性風しん症候群を起こす場合があるので、妊婦およびそのパートナーの予防は特に重要です。

○**感染性胃腸炎報告について**

徳島県内では、依然として感染性胃腸炎が毎週100人超えで報告されています。毎年秋から冬にかけて流行するとされていますが、今年は例外で夏が迫っているにも関わらず流行しています。感染性胃腸炎の病原体には、ノロウイルス、ロタウイルスなどのウイルスのほか、細菌や寄生虫もあります。主な感染経路は接触感染と経口感染ですので、流水と石鹸で十分に手を洗う習慣を身につけておくことで予防になります。トイレの後や調理・食事前に手を洗うよう心掛けておくとうれいかもしれません。

○**セミナー情報**

◎**ザイボックス インターネットシンポジウム 抗菌薬適正使用支援へのアプローチ**  
**-より良い組織づくりと支援ツールの有効活用-**◎

日時：2019年7月24日（水）18:30～19:15

会場：徳島大学藤井節郎記念医科学センター 2階 多目的室

座長：富山大学大学院 医学薬学研究部 感染予防医学講座 教授

山本 善裕 先生

演者：東京大学医学部附属病院 薬剤部

高山 和郎 先生

参加申込締切：7/19（金）

感染専門医療従事者養成プログラム2単位付与

☆°:\*:♪。\*:☆°—————☆°:\*:。♪:\*:☆°

「感染地域ネットワーク通信」を通じて、感染専門アドバイザー間の情報交換・情報発信を始めませんか？

「感染地域ネットワーク通信」では・・・

- ①県内での感染症（対策）関連の講演会開催予定
- ②各医療機関で得たトピック情報の共有
- ③各医療機関での特徴的な活動
- ④皆で共有しておきたい感染情報 等

基本的に、当院が随時とりまとめ情報発信します。

講演会情報の周知などございましたら、下記までご連絡ください。

♪♪内容に関するご意見などは、下記連絡先までお願いします♪♪

\*\*\*\*\*

〒770-8503

徳島県徳島市蔵本町2丁目50番地の1

徳島大学病院 感染制御部 事務 小林

E-mail : kansen@tokushima-u.ac.jp

TEL:088-633-7305、FAX:088-633-7307

\*\*\*\*\*